

2020年度 第4四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

<概況>

受注量については、引き続き持ち直しの傾向が見られる。また、今後の見通しについても、受注の見通しを減少とする企業の割合は低下した。

受注単価については、大きな変化は見られず、資金繰り・採算状況については、「悪化」と回答した企業の割合が減少し、多くの業種で持ち直しの傾向が見られる。

また、受注余力については、引き続き持ち直しの傾向がみられるものの、7割以上の企業が「受注余力あり」と回答した。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 前回調査時同様、全体的に持ち直しの傾向が見られるが、プラス幅は縮小した。
- (2)受注見通し : 「減少」とする企業の割合は低下し、「増加」とする企業は横ばい状態となった。
- (3)受注単価 : 全体的に大きな変化はなかった。
- (4)資金繰り : 「悪化」と回答した企業の割合が減少し、全体的に持ち直しの傾向が見られる。
- (5)採算状況 : 多くの業種で持ち直しの傾向が見られるが、依然3割以上が「赤字」と回答した。
- (6)受注余力 : 引き続き持ち直しの傾向がみられるものの、7割以上の企業が「受注余力あり」と回答した。
(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

<分析>

調査対象企業のうち38社に対して、訪問等により景況感についてのヒアリングを実施。

1～2月に発令された二度目の緊急事態宣言や半導体の供給不足の影響が懸念される中であったが、前回の調査に引き続き、受注量は全体的に持ち直しの傾向が見られた。なかでも半導体産業は、5Gの普及やリモートワークによるPC需要を背景に活発な動きが続いており、最近では府内の二次下請け業者にも仕事が回り出す様子が窺えた。また、自動車産業については、メーカーや部品の搭載車種によって差はあるものの試作・量産ともに好調に推移している。

そのほか、建設機械やロボット等の分野においても、中国・北米の経済回復により、受注量を伸ばす企業も見受けられた。一方で、新型コロナの影響により投資が先送りとなっている医療機器関連や米中貿易摩擦により以前から低調が続く工作機械関連の受注は一部回復の兆しは見られたが限定的なものにとどまった。

また、ヒアリングを実施した大半の企業から、鋼材・樹脂等の価格が高騰しているとの声が聞かれたほか、電子部品等の供給不足により調達に苦慮する企業も見受けられるようになり、仕入価格の上昇や出荷遅延による採算悪化が懸念される。

今後については、ワクチンの普及等による国内外の経済正常化が進み、ゆるやかに回復していくことが期待されるものの、前述した材料高騰の問題に加え、感染の再拡大や半導体の供給ひっ迫による自動車産業の生産調整などのマイナス要因が依然として残る。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2021年1月～3月
(2021年3月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 261社 (回答率 87.0%)

公益財団法人 **京都産業21**

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

(3) 調査時点

2021年3月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

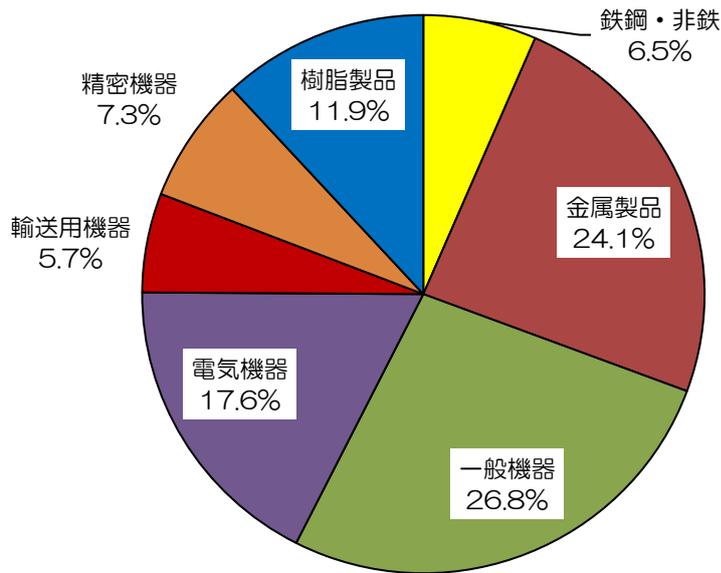
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）
※一部企業へはヒアリング調査を実施

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	261社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	17社	（ 6.5% ）	
金属製品関係	63社	（ 24.1% ）	
一般機器関係	70社	（ 26.8% ）	
電気機器関係	46社	（ 17.6% ）	
輸送用機器関係	15社	（ 5.7% ）	
精密機器関係	19社	（ 7.3% ）	
樹脂製品関係	31社	（ 11.9% ）	
④ 回答率	87.0%	〔前回：84.7%〕	

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 1.9%		1 1.6%		1 2.2%			3 9.7%
~300万円	19 7.3%		6 9.5%	2 2.9%	4 8.7%	2 13.3%	2 10.5%	3 9.7%
301~999万円	13 5.0%		3 4.8%	6 8.6%	1 2.2%	1 6.7%		2 6.5%
1000~2000万円	147 56.3%	9 52.9%	38 60.3%	41 58.6%	26 56.5%	3 20.0%	12 63.2%	18 58.1%
2001~5000万円	59 22.6%	6 35.3%	14 22.2%	17 24.3%	10 21.7%	4 26.7%	4 21.1%	4 12.9%
5000万円超	18 6.9%	2 11.8%	1 1.6%	4 5.7%	4 8.7%	5 33.3%	1 5.3%	1 3.2%
合 計	261 100%	17 100%	63 100%	70 100%	46 100%	15 100%	19 100%	31 100%

(3) 業種別・従業員別回答企業数

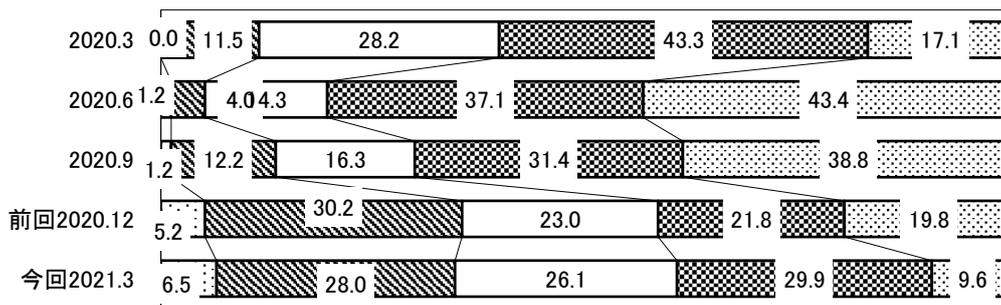
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	21 8.0%	3 17.6%	4 6.3%	6 8.6%	4 8.7%			4 12.9%
6~10人	30 11.5%	2 11.8%	5 7.9%	11 15.7%	1 2.2%	3 20.0%	5 26.3%	3 9.7%
11~20人	72 27.6%	3 17.6%	17 27.0%	23 32.9%	13 28.3%	1 6.7%	5 26.3%	10 32.3%
21~30人	40 15.3%	3 17.6%	15 23.8%	10 14.3%	6 13.0%	1 6.7%	1 5.3%	4 12.9%
31~50人	41 15.7%	4 23.5%	10 15.9%	9 12.9%	9 19.6%	2 13.3%	3 15.8%	4 12.9%
51人以上	57 21.8%	2 11.8%	12 19.0%	11 15.7%	13 28.3%	8 53.3%	5 26.3%	6 19.4%
合 計	261 100%	17 100%	63 100%	70 100%	46 100%	15 100%	19 100%	31 100%

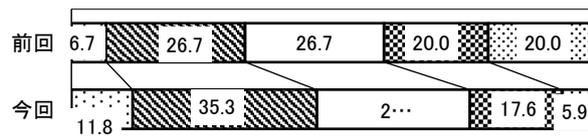
3. 調査結果

(1) 受注量について

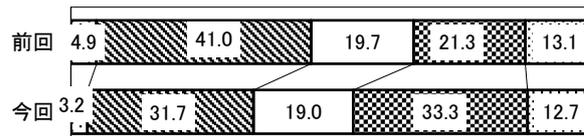
①全体(261社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (％)



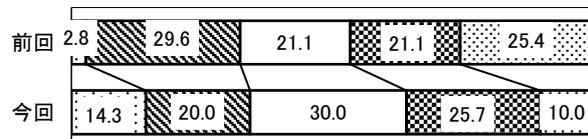
②鉄鋼・非鉄(17社)



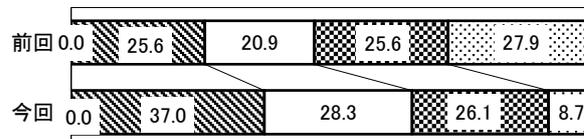
③金属製品(63社)



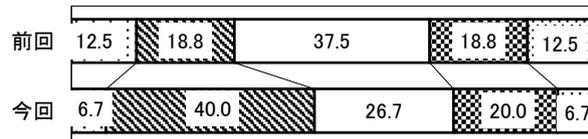
④一般機器(70社)



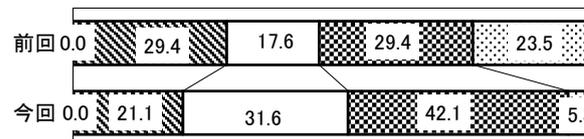
⑤電気機器(46社)



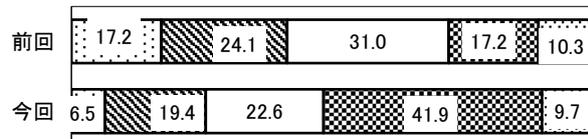
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(19社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

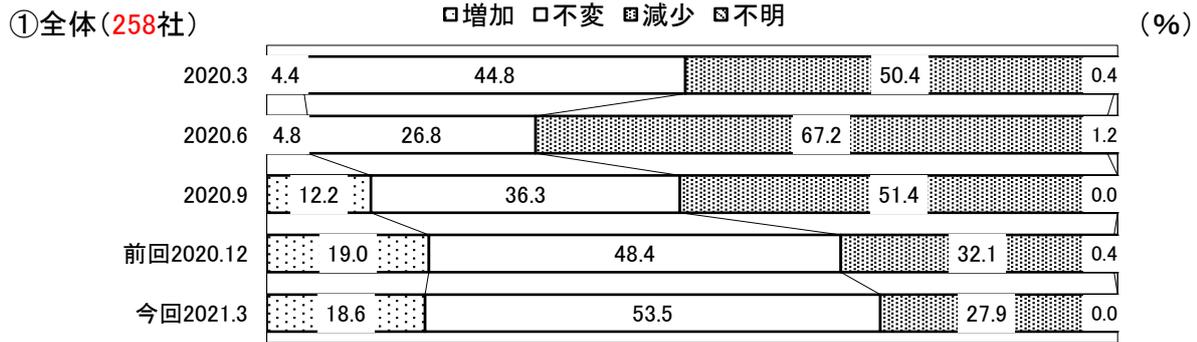
・1月～3月期の受注量の業況判断D-I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲5.0となり、前期（10月～12月期）のD-I値▲6.2と比べ1.2ポイント上昇し、前回調査時同様、全体的に持ち直しの傾向が見られるが、プラス幅は縮小した。

○業種別

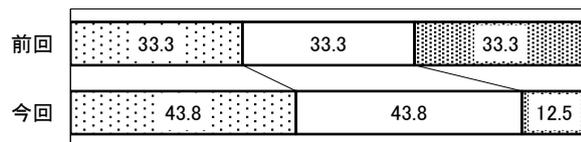
・D-I値は、鉄鋼・非鉄（23.6）、輸送用機器（20.0）、電気機器（2.2）の3業種でプラスとなり、一般機器（▲1.4）、金属製品（▲11.1）、樹脂製品（▲25.7）、精密機器（▲26.3）の4業種でマイナスとなった。

・D-I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（30.2ポイント）、電気機器（30.1ポイント）、輸送用機器（20.0ポイント）、一般機器（12.7ポイント）の4業種で上昇。精密機器（▲2.8ポイント）、金属製品（▲22.6ポイント）、樹脂製品（▲39.5ポイント）の3業種で減少した。

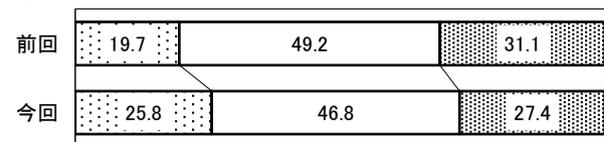
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



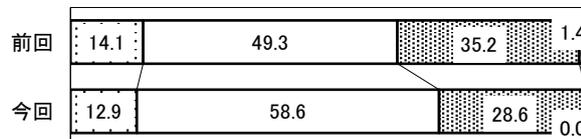
②鉄鋼・非鉄(16社)



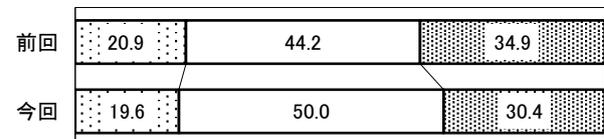
③金属製品(62社)



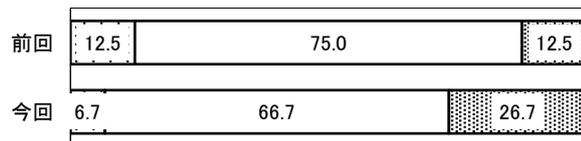
④一般機器(70社)



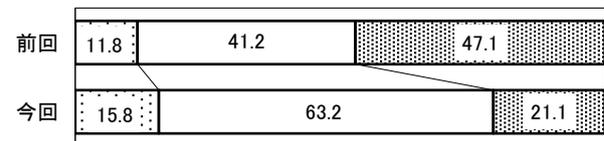
⑤電気機器(46社)



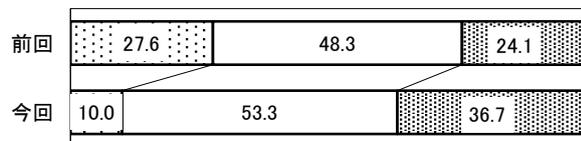
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(19社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

・次期(4月~6月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲9.3となり、前期(10月~12月期)調査時のD I値▲13.1と比べ3.8ポイント上昇し、見通しを「減少」とする企業の割合は低下し、「増加」とする企業は横ばい状態となった。

○業種別

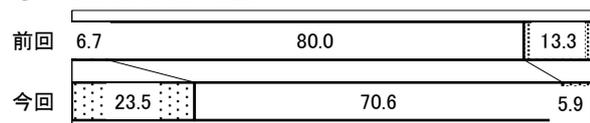
・D I値は、鉄鋼・非鉄(31.3)の1業種のみプラス。金属製品(▲1.6)、精密機器(▲5.3)、電気機器(▲10.8)、一般機器(▲15.7)、輸送用機器(▲20.0)、樹脂製品(▲26.7)の6業種でマイナスとなった。

・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(31.3)、精密機器(30.0ポイント)、金属製品(9.8ポイント)、一般機器(5.4ポイント)、電気機器(3.2ポイント)の5業種で上昇。輸送用機器(▲20.0ポイント)、樹脂製品(▲30.2ポイント)の2業種で低下している。

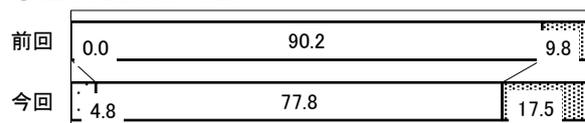
(3) 受注単価について



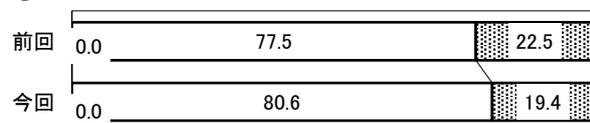
②鉄鋼・非鉄(17社)



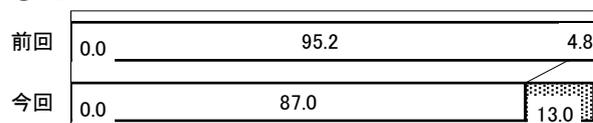
③金属製品(63社)



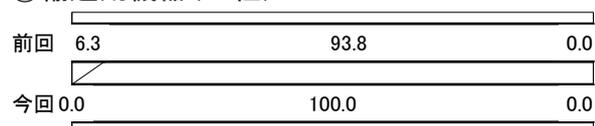
④一般機器(67社)



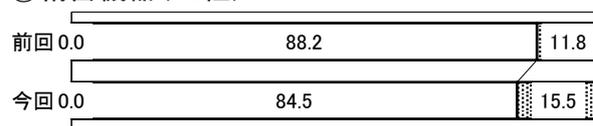
⑤電気機器(46社)



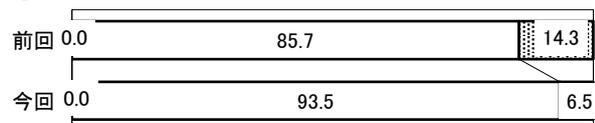
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(19社)



⑧樹脂製品(31社)



○全体

- ・1月～3月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲11.3となり、前期(10月～12月期)のD I 値▲12.0と比べて0.7ポイント上昇と、全体的に大きな変化はなかった。

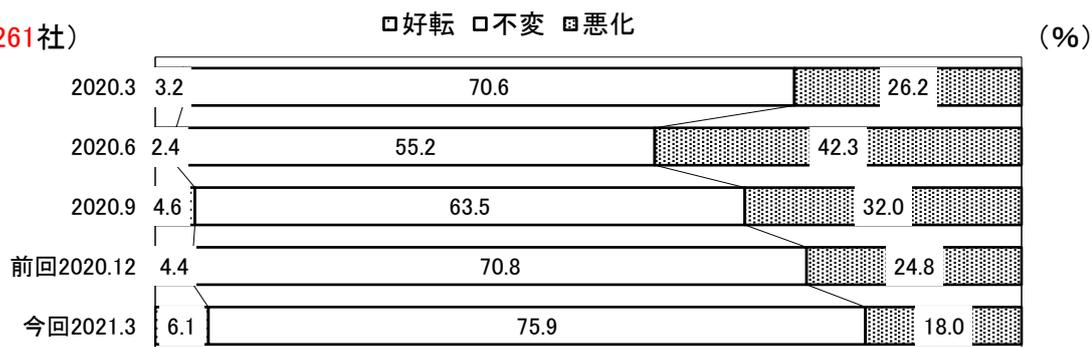
○業種別

- ・D I 値は、鉄鋼・非鉄(17.6)の1業種のみプラス。輸送用機器の1業種のみ±0となり、樹脂製品(▲6.5)、金属製品(▲12.7)、電気機器(▲13.0)、精密機器(▲15.5)、一般機器(▲19.4)の4業種でマイナスとなった。

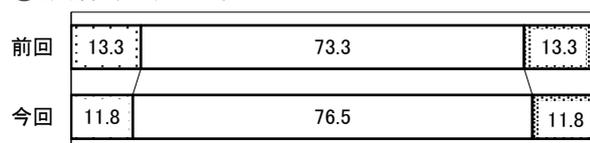
- ・D I 値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(24.2ポイント)、樹脂製品(7.8ポイント)、一般機器(3.1ポイント)の3業種で上昇。電気機器(▲8.2ポイント)、輸送用機器(▲6.3ポイント)、精密機器(▲3.7ポイント)、金属製品(▲2.9ポイント)の4業種で低下している。

(4) 資金繰りについて

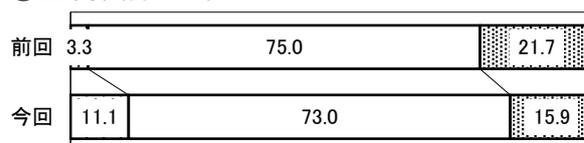
①全体(261社)



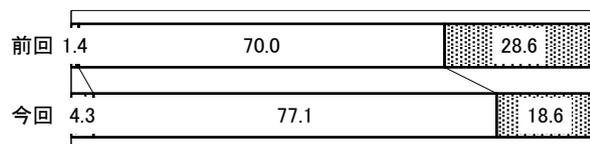
②鉄鋼・非鉄(17社)



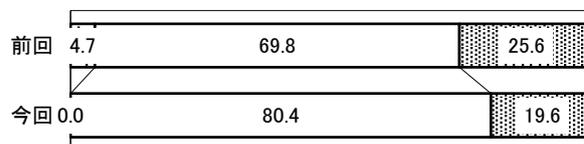
③金属製品(63社)



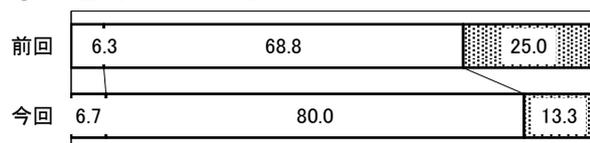
④一般機器(70社)



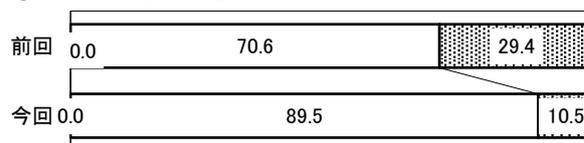
⑤電気機器(46社)



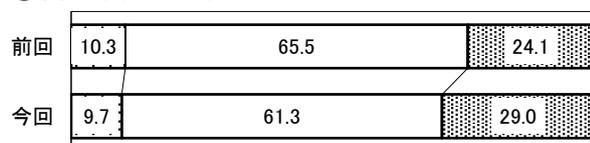
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(19社)



⑧樹脂製品(31社)



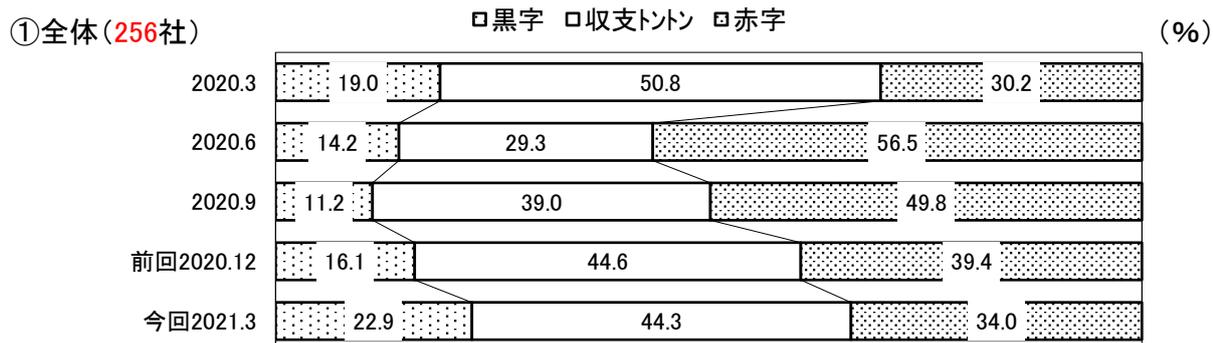
○全体

- ・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲11.9となり、前期(10月～12月期)のD I値▲20.4と比べて8.5ポイント上昇と、「悪化」と回答した企業の割合が減少した。

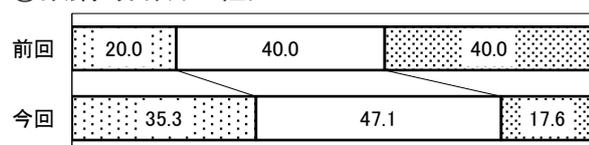
○業種別

- ・D I値は、鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となり、金属製品(▲4.8)、輸送用機器(▲6.6)、精密機器(▲10.5)、一般機器(▲14.3)、樹脂製品(▲19.3)、電気機器(▲19.6)と6業種でマイナスとなった。
- ・D I値を前期と比較すると精密機器(18.9ポイント)、金属製品(13.6ポイント)、一般機器(12.9ポイント)、輸送用機器(12.1ポイント)、電気機器(1.3ポイント)の5業種で上昇。鉄鋼・非鉄の1業種のみ±0となり、樹脂製品(▲5.5ポイント)の1業種が低下している。

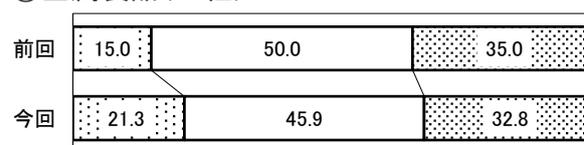
(5) 採算状況について



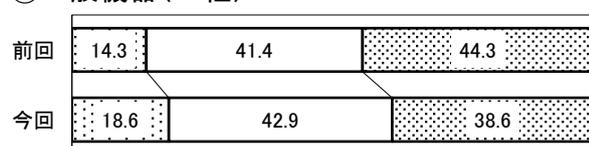
②鉄鋼・非鉄(17社)



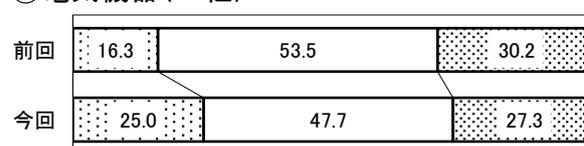
③金属製品(61社)



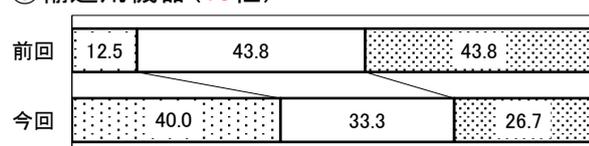
④一般機器(70社)



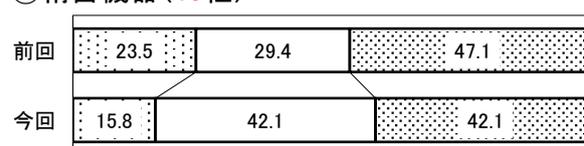
⑤電気機器(44社)



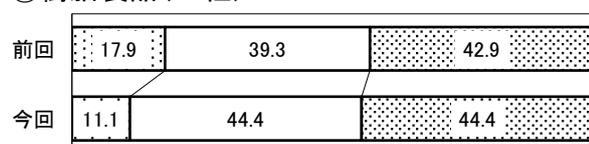
⑥輸送用機器(15社)



⑦精密機器(19社)



⑧樹脂製品(30社)



○全体

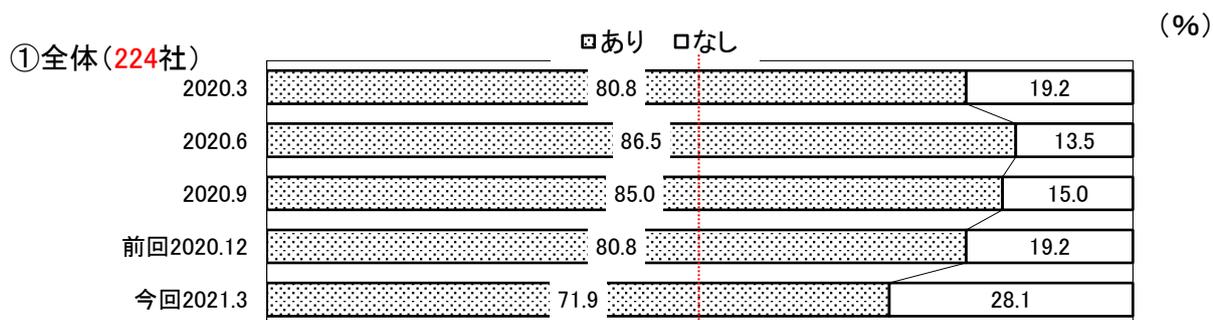
- ・1月～3月期の採算状況の業況判断D I (「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲11.1となり、前期(10月～12月期)のD I値▲23.3と比べ12.2ポイント上昇し、多くの業種で持ち直しの傾向が見られるが、依然3割以上が「赤字」回答している。

○業種別

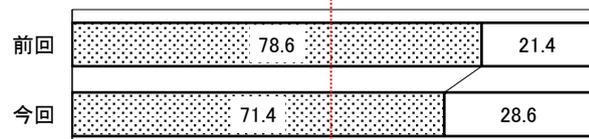
- ・D I値は、鉄鋼・非鉄(17.7)、輸送用機器(13.3)の2業種でプラス。電気機器(▲2.3)、金属製品(▲11.5)、一般機器(▲20.0)、精密機器(▲26.3)、樹脂製品(▲33.3)の5業種でマイナスとなった。

- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器(44.6ポイント)、鉄鋼・非鉄(37.7ポイント)、電気機器(11.6ポイント)、一般機器(10.0ポイント)、金属製品(8.5ポイント)の5業種で上昇。精密機器(▲2.7ポイント)、樹脂製品(▲8.3ポイント)の2業種で低下している。

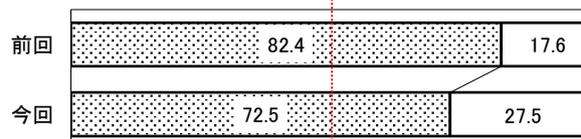
(6) 受注余力について



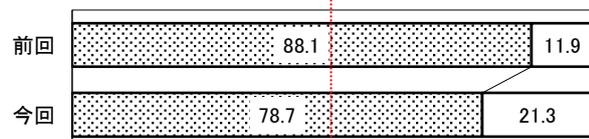
②鉄鋼・非鉄(14社)



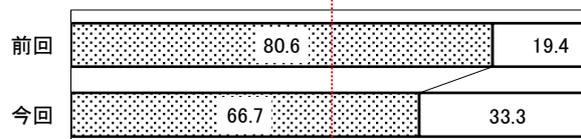
③金属製品(51社)



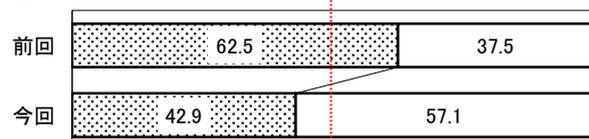
④一般機器(61社)



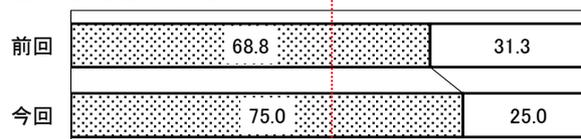
⑤電気機器(42社)



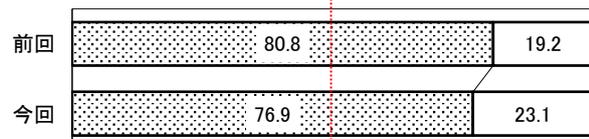
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(16社)



⑧樹脂製品(26社)



○全体

・1月～3月期の受注余力の業況判断D I (「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は43.8となり、前期(10月～12月期)のD I値61.6と比べ17.8ポイント低下した。

(「受注余力あり」企業が減少した＝プラス傾向)

・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が71.9%と、前期と比較して8.9%の低下となった。

○業種別

・D I値は、輸送用機器(▲14.2)の1業種で「受注余力なし」が「受注余力あり」を上回り、電気機器(33.4)、鉄鋼・非鉄(42.8)、金属製品(45.0)、精密機器(50.0)、樹脂製品(53.8)、一般機器(57.4)の6業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・D I値を前期と比較すると、精密機器(12.5ポイント)の1業種のみ前回はプラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。樹脂製品(▲7.8ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲14.4ポイント)、一般機器(▲18.8ポイント)、金属製品(▲19.8ポイント)、電気機器(▲27.8ポイント)、輸送用機器(▲39.2ポイント)の6業種で前回はマイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp